

第7号報告

燃ゆる感動かごしま国体・燃ゆる感動かごしま大会の視察報告について

【国体】 令和5年10月7日(土)～16日(月)



ウェイトリフティング(薩摩川内市)



ソフトボール(成年女子)(指宿市)



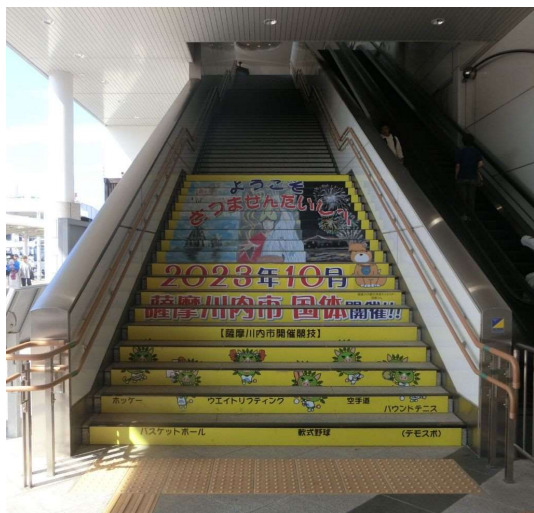
銃剣道(霧島市)





高等学校野球(軟式)(出水市)

歓迎装飾・接伴



JR川内駅階段装飾(薩摩川内市)



JR出水駅物産売場バナー(出水市)



ふるまいコーナー(出水市)



無料ドリンクコーナー(薩摩川内市)



■手作り応援のぼり旗（出水市）

市内の小学校や中学校に全ての都道府県分の応援のぼり旗作成を依頼。47都道府県×競技会場分の枚数を作成することが一般的。

花いっぱい運動



国体推奨花を植えたプランターが競技会場や街中で多く見受けられた。プランターに児童・生徒が手書きでメッセージを書き込んだシールを貼る自治体もあり、対応は様々。

ブルーチップスタジアム
（出水市）



JR出水駅

案内所・休憩所・売店



会場内総合案内所（指宿市）



JR出水駅総合案内所（出水市）



休憩所（霧島市）①



休憩所（霧島市）②



おもてなし広場（出水市）①



おもてなし広場（出水市）②

- ・競技会場や駅構内に総合案内所を設置し、競技や観光等の案内を実施
- ・会場内に設置された休憩所では昼食等を取りながらモニターで試合観戦も可能
- ・屋根付きのおもてなし会場では天気を気にすることなく、売店で買い物を楽しめる

学校観戦



銃剣道観戦（霧島市）



ウェイトリフティング観戦（薩摩川内市）

- ・国内トップレベルの選手による競技観戦ができる国体では小学生から高校生等に学校観戦の機会が付与された。高校野球では小学生が空のペットボトルを叩き合わせて選手を応援
- ・学校観戦の実施にあたっては、一般観覧者等と動線が交わらないようにするなど綿密な準備が必要

ボランティア（出水市）



- ・出水市ではふるまいコーナーでの配膳や着ぐるみの介添え、抽選会スタッフ、清掃業務など多種多様な業務をこなした
- ・他の実行委員会では無料ドリンクの配布や弁当の引換などの業務もある

国体弁当（宿泊衛生専門委員会関係）



弁当パッケージ（指宿市）



日替わり弁当
（指宿市/10月9日）



日替わり弁当
（指宿市/10月10日）

- ・各市実行委員会が弁当購入希望者（選手・監督等）に対し、昼食の弁当を斡旋。各実行委員会はパッケージに趣向を凝らし、観光などをPR

シャトルバス等運営（輸送交通専門委員会関係）



- ・鹿児島県実行委員会が手配したバスを市実行委員会が業務委託し運営（出水市）

【障スポ・ソフトボール】 令和5年10月28日（土）・29日（日）



競技風景（南九州市）



弁当引換所（南九州市）



救護所（南九州市）

■概要

- ・障スポの準備および運営は鹿児島県が主体。上位スタッフを県職員が担い、南九州市スタッフは係員として約30名が参加。28日には秋篠宮佳子内親王殿下様がお成りになられ、ソフトボール競技への皇族のお成りは二大会連続

わた SHIGA 輝く国スポ高島市式典実施要項案

Ⅰ 目的

この要項は、「わた SHIGA 輝く国スポ・障スポ高島市式典基本計画」に基づき、「わた SHIGA 輝く国スポ」における式典の実施について、必要な事項を定める。

Ⅱ 方針

式典は、競技会への参加意欲を高めるとともに、選手の健闘を心からたたえ、多くの方が喜びと感動を分かち合えるものとする。内容については、選手のコンディションや競技運営に配慮し、簡素化に努める。

Ⅲ 式典運営

- (1) 式典の運営は、わた SHIGA 輝く国スポ・障スポ高島市実行委員会、競技団体、関係機関、関係団体等が連携し行う。
- (2) 式典の運営に必要な人員は、高島市内および近隣市町の学校ならびに関係機関、関係団体等の協力を得て編成する。

Ⅳ 式典内容

式典の内容は、概ね次のとおりとする。ただし、内容および所要時間については、選手のコンディション等の配慮に努めるものとする。

(1) 開会式

- ア 開会通告
- イ 競技会開始宣言
- ウ 国旗掲揚（儀礼）
- エ 大会旗・実施競技団体旗・県旗・市旗掲揚（儀礼）
- オ 大会会長トロフィー返還
- カ 開会のあいさつ
- キ 歓迎のことば
- ク 選手宣誓
- ケ 閉式通告

(2) 表彰式

- ア 開式通告
- イ 成績発表
- ウ 表彰状授与
- エ 大会会長トロフィー授与
- オ 閉会のあいさつ
- カ 歓送のことば

- キ 国旗降納（儀礼）
- ク 大会旗・実施競技団体旗・県旗・市旗降納（儀礼）
- ケ 競技会終了宣言
- コ 閉会通告

5 式典音楽

式典音楽は、原則として CD、メディアプレーヤー等を使用する。

6 その他

- (1) この要項に定めるもののほか、必要な事項は別に定める。
- (2) 競技別リハーサル大会における式典実施についても、必要に応じてこの要項を準用する。
- (3) 第24回全国障害者スポーツ大会「わた SHIGA 輝く障スポ」については、「わた SHIGA 輝く障スポ県および会場市町の業務分担・経費負担基本方針」に基づき実施する。

附則

この要項は、令和6年 月 日から施行する。

その他(1)

レディースカップ 第16回全日本女子選抜ウエイトリフティング選手権大会
わたSHIGA輝く国スポウエイトリフティング競技リハーサル大会
実施要項 (案)

- 1 主 催 (公社)日本ウエイトリフティング協会／高島市／高島市教育委員会
わたSHIGA輝く国スポ・障スポ高島市実行委員会
- 2 主 管 滋賀県ウエイトリフティング協会
- 3 後 援 スポーツ庁／滋賀県／滋賀県教育委員会／(公財)滋賀県スポーツ協会／
高島市スポーツ協会
- 4 期 日 令和6年11月20日(水)～11月21日(木)
- 5 会 場 滋賀県立安曇川高等学校体育館
滋賀県高島市安曇川町西万木1168番地 TEL 0740-32-0477
- 6 日 程 (1) 審判・監督会議 令和6年11月19日(火)午後4時00分～
安曇川公民館 ふじのきホール
(2) 総合開会式 令和6年11月19日(火)午後5時30分～
安曇川公民館 ふじのきホール
(3) 表彰式 令和6年11月21日(木)競技終了後
滋賀県立安曇川高等学校体育館
(4) 総合閉会式 令和6年11月24日(日)競技終了後
滋賀県立安曇川高等学校体育館
(5) 競技会 別紙「競技日程(案)」参照
(参加人数により、変更することもある)
- 7 種 別 個人選手権・団体対抗選手権(高校の部・一般の部)
- 8 種 目 規定2種目(スナッチ・クリーン&ジャーク)
- 9 階 級 10階級(45・49・55・59・64・71・76・81・87・+87kg級)
- 10 競技規則 (公社)日本ウエイトリフティング協会制定の競技・競技会規則(以下「競技規則」という。)による。ただし、以下の事項については記載のとおりとする。
 - (1) 抽選は、資格審査会でパソコンを用いて競技委員長が一括して行う。
 - (2) 選手紹介は行わない。
 - (3) 試技時間は40秒とし、連続の場合は1分30秒とする。

11 競技方法

(1) 個人選手権

高校の部・一般の部に分け、各階級のトータル記録で順位を決定する。

(2) 団体対抗選手権

ア 高校の部・一般の部に分けて、得点成績で順位を決定する。得点合計が同点の場合は、上位者の多い団体が上位になる。上位者も同数の場合は、その順位を共有し、次の順位を欠位とする。

イ 参加選手団（1名のみの出場選手も得点対象となる。）の得点の合計により順位を決定する。各階級のトータル8位までを得点対象とし、次の表に掲げる得点を加算する。なお、得点対象は1団体7名以内、1階級2名以内とする。

（参加者がこの枠を超える場合は、別チーム名で登録するか、または、A・Bチームとして登録すること。ただし、この場合、申込後の選手の入れ替えは認めない。）

注) 同一チームから8名あるいは同一階級に3名登録した場合、8人目の選手若しくは3人目の選手は個人出場扱いとなるが、この場合でも団体得点の対象となるので、結果によっては8名又は同一階級の3名が得点を獲得することがある。その場合得点集計に混乱が生じるので8人目若しくは3人目の所属名は別チーム名又はA・Bで登録すること。

順位	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位
得点	17点	15点	14点	13点	12点	11点	10点	9点

12 参加資格

(1) (公社) 日本ウエイトリフティング協会に令和6年度登録完了している者。

(2) 満15歳以上であって、中学校を卒業した者

(3) 令和5年度以降において、次に定める標準記録に到達している者。また、その記録が都道府県単位の競技会で達成されたものである場合は、その記録表を添付すること。ただし、開催地に登録籍のある選手については、標準記録に到達していなくても出場を認める場合がある。

※なお、下記階級のいずれかで標準記録に到達している場合は、本大会への出場資格を有するものとし、申込時の階級は任意とする。

[標準記録]

(単位: kg)

階級		45	49	55	59	64	71	76	81	87	+87
種別 (トータル)	高校	105	110	120	125	130	135	140	140	140	140
	一般	115	120	130	135	140	145	150	150	150	150

※申込者が多数の場合、階級ごとに参加者数を制限する場合もある。

(4) チーム編成の条件

高校の部 同一の高等学校の選手で編成されたチーム

一般の部

ア 地域スポーツクラブチーム

同一都道府県内に、現住所又は勤務先を置く選手で編成されたチーム。

イ 官公庁等及び企業チーム

同一都道府県内に勤務する者で編成する職場チーム。

ただし、同一事業体に勤務する者で、活動拠点が同一都道府県でない場合は、本社機能が存在する都道府県のチームとして申し込むことが

できる。
ウ 学校チーム
同一の大学の選手で編成されたチーム

- 13 出場承認 (1) 参加資格審査会において出場承認をする。
(2) 出場不承認者には、10月21日(月)までに申込責任者宛てに連絡する。
(3) 参加承認者には連絡しない。
- 14 申込方法 (1) 申込責任者は「監督者又は所属長」とし、都道府県協会長の承認を得て申し込む。(都道府県単位で申し込む場合は監督者とし、単独の学校等で申し込む場合は所属長とする。)
(2) 別紙「申込要領」を参照のこと。
(3) 大会参加申込書(別紙申込書:様式2又は様式3)は3部作成し、それぞれに都道府県協会会長印を捺印し、下記2カ所(ア・イ)に1部ずつ送付のこと。なお、1部は本人控えとする。また、参加申込書(エクセル形式)を、実行委員会宛にEメールにて送信すること。(会長印は不要)
また、「振込受付書」又は「取引明細書」の写しを下記「イ」へ送付のこと。
ア 〒160-0013 東京都新宿区霞ヶ丘町 4-2 JSOS内
(公社)日本ウエイトリフティング協会
TEL 03-6434-0681 Fax 03-6434-0682
メール weightlifting@japan-sports.or.jp

イ 〒520-1592 滋賀県高島市新旭町北畑 565番地
高島市教育委員会事務局国スポ・障スポ大会推進課内
わた SHIGA 輝く国スポ・障スポ高島市実行委員会
TEL 0740-25-8567 Fax 0740-25-8539
メール kokusupo-syosupo@city.takashima.lg.jp
(4) 申込締切日 令和6年10月4日(金) 必着
- 15 宿泊申込 別紙「宿泊・昼食弁当要領」による。
- 16 参加料 (1) 1名につき 5,000 円
(2) 参加申込書の提出前に、下記金融機関に振り込むこと。

金融機関名	滋賀銀行 新旭支店
口座番号	普通 0439069
口座名	(ワタシガ 輝く国スポ・障スポ ショウスホ タカシマシヅッコウインカイイチャウフクイマサキ) わた SHIGA 輝く国スポ・障スポ高島市実行委員会 会長 福井 正明

- ※ただし、振込手数料は振込者の負担とする。
(3) 「振込受付書」又は「取引明細書」の写しを、参加申込書と一緒に「14 申込方法 (3) イ」まで郵送すること。

17 表 彰 高校の部・一般の部それぞれ部門ごとに表彰する。

- (1) 個人選手権は、各階級の 6 位までを入賞とする。1 位～3 位までに賞状及びメダルを、4 位～6 位までに賞状を授与する。
- (2) 団体対抗選手権は、6 位までを入賞とし、1 位チームにカップ（持ち回り）を授与する。1 位～3 位までの入賞チームに賞状及び賞品を、4 位～6 位までの入賞チームに賞状を授与する。
- (3) 各部門の最優秀選手にレディースカップ（持ち回り）を授与する。

1 ドーピング・コントロール

- (1) 本競技会は、日本アンチ・ドーピング規程に基づくドーピング・コントロール対象大会です。
- (2) 競技会参加者（18 歳未満の競技者を含む。以下同じ）は、競技会にエントリーした時点で日本アンチ・ドーピング 規程にしたがい、ドーピング・コントロール手続の対象となることに同意したものとみなします。18 歳未満の競技者については、本競技会への参加により親権者の同意を得たものとみなします。
- (3) 本競技会に参加する 18 歳未満の競技者は、親権者の署名した同意書を大会に持参し携帯して下さい。親権者の同意書フォームは、日本アンチ・ドーピング機構（JADA）のウェブサイトからダウンロードできます。
(https://playtruejapan.org/entry_img/u18_template_20201116.pdf)
18 歳未満の競技者はドーピング 検査の対象となった際に、親権者の署名が記載された当該同意書を担当検査員に提出して下さい。なお、親権者の同意書の提出は 18 歳未満時に 1 回のみで、当該同意書の提出後に再びドーピング検査の対象となった場合は、すでに提出済みであることをドーピング検査時に申し出て下さい。ドーピング検査会場において親権者の同意書の提出ができない場合、検査後 7 日以内に JADA 事務局へ郵送にて提出して下さい。親権者の同意書の提出がなかった場合でも、ドーピング・コントロール手続に一切影響がないものとします。
- (4) 本競技会参加者は、本競技会において行われるドーピング検査（尿・血液等検体の種類を問わず）を拒否又は回避した場合、検査員の指示に従わない場合、帰路の移動等個人的諸事情によりドーピング検査手続を完了することができなかった場合等は、アンチ・ドーピング規則違反となる可能性があります。アンチ・ドーピング規則違反と判断された場合には、日本アンチ・ドーピング規程に基づき制裁等を受けることになるので留意して下さい。
- (5) 競技会・競技会外検査問わず、血液検査の対象となった競技者は、採血のため、競技/運動終了後 2 時間の安静が必要となるので留意して下さい。
- (6) 日本アンチ・ドーピング規程の詳細内容およびドーピング検査については、公益財団法人日本アンチ・ドーピング機構のウェブサイトにて確認して下さい。(<http://www.playtruejapan.org>)

19 大会期間中の肖像権について

大会期間中に撮影された写真等を、主催者又は高島市が作成する報告書、広報誌、ホームページ、SNS等に掲載されることがある。また、YouTube等で競技の様子がライブ配信されることがある。

- 20 その他
- (1) 申込後の「階級変更」は認めない。
 - (2) 申込後に出場の取り消し、若しくは棄権した場合の参加料は返却しない。
 - (3) 申込後において、団体選手権出場者に事故が生じた場合は、同一の階級に限り選手の交代を認める。(交代選手が競技会に参加登録していなくても大会要項 12 の参加資格に該当する選手であれば交代を認める。) この場合、最終の期限は監督会議前までとする。
 - (4) 申込責任者は、出場選手の健康状態を確認し、参加申込をすること。
 - (5) 競技会中における選手の負傷事故及び宿舎での飲食による食中毒等については、主催者側において応急処置をするが、その後の責任は主催・主管側で負わない。なお、これらの事故が発生した場合は、速やかに監督者を通じて大会実施本部に届け出ること。
 - (6) エントリー数によっては競技日程を変更するので、監督会議には必ず出席すること。
 - (7) 参加申込に際しては、個人の階級、氏名、所属、都道府県、生年をプログラムに掲載及び結果発表等を大会運営の目的で公表すること、競技会の画像・映像を大会関係者が使用することを承諾したものとして取り扱う。

**内閣総理大臣杯 第61回全日本社会人ウエイトリフティング選手権大会
わたSHIGA輝く国スポウエイトリフティング競技リハーサル大会
実施要項（案）**

- 1 主 催 (公社)日本ウエイトリフティング協会／高島市／高島市教育委員会
わたSHIGA輝く国スポ・障スポ高島市実行委員会
- 2 主 管 滋賀県ウエイトリフティング協会
- 3 後 援 スポーツ庁／滋賀県／滋賀県教育委員会／(公財)滋賀県スポーツ協会
高島市スポーツ協会
- 4 期 日 令和6年11月22日（金）～11月24日（日）
- 5 会 場 滋賀県立安曇川高等学校体育館
滋賀県高島市安曇川町西万木1168番地 TEL 0740-32-0477
- 6 日 程 (1) 総合開会式 令和6年11月19日（火）午後5時30分～
安曇川公民館 ふじのきホール
(2) 審判・監督会議 令和6年11月21日（木）午後6時00分～
(内閣総理大臣杯返還式) 安曇川公民館 ふじのきホール
(3) 総合閉会式 令和6年11月24日（日）競技終了後
滋賀県立安曇川高等学校体育館
(4) 競技会 別紙「競技日程（案）」参照
(参加人数により、変更することもある)
- 7 種 別 個人選手権・団体対抗選手権
- 8 種 目 規定2種目（スナッチ・クリーン&ジャーク）
- 9 階 級 10階級（55・61・67・73・81・89・96・102・109・+109kg級）
- 10 競技規則 (公社)日本ウエイトリフティング協会制定の競技・競技会規則（以下「競技規則」という。）による。ただし、以下の事項については記載のとおりとする。
 - (1) 抽選は、資格審査会でパソコンを用いて競技委員長が一括して行う。
 - (2) 選手紹介は行わない。
 - (3) 参加人数により、試技時間等を変更することもある。
- 11 競技方法 (1) 個人選手権

各階級に部門を設けず、トータル記録で順位を決定する。

(2) 団体対抗選手権

総合成績と、部門別成績で得点により順位を決定する。

(3) 参加選手団（1名のみ出場選手も得点対象となる。）の得点の合計により順位を決定する。得点合計が同点の場合は、上位入賞者の多い団体が上位になる。上位入賞者も同数の場合は、その順位を共有し、次の順位を欠位とする。

各階級のトータル 16 位までを得点対象とし、次の表に掲げる得点を加算する。なお、得点対象者は 団体 8 名以内、1 階級 2 名以内とする。

(参加者がこの枠を超える場合は、別チーム名で登録するか、または、A・Bチームとして登録すること。ただし、この場合、申込後の選手の入れ替えは認めない。)

注) 同一チームから 9 名あるいは同一階級に 3 名登録した場合、9 人目の選手若しくは 3 人目の選手は個人出場扱いとなるが、この場合でも団体得点の対象となるので、結果によっては 9 名又は同一階級の 3 名が得点を獲得することがある。その場合得点集計に混乱が生じるので 9 人目若しくは 3 人目の所属名は別チーム名又は A・B で登録すること。

順 位	1 位	2 位	3 位	4 位	5 位	6 位	7 位	8 位
得 点	17 点	15 点	14 点	13 点	12 点	11 点	10 点	9 点
順 位	9 位	10 位	11 位	12 位	13 位	14 位	15 位	16 位
得 点	8 点	7 点	6 点	5 点	4 点	3 点	2 点	1 点

12 参加資格

- (1) (公社) 日本ウエイトリフティング協会に令和 6 年度登録完了している者。
- (2) 平成 18 年（2006 年）4 月 1 日以前に生まれた者であること。ただし、全日本学生連盟に加盟している学生と、都道府県高等学校体育連盟に加盟している生徒は除く。
- (3) 令和 4 年度以降において、次に定める標準記録に到達している者。また、その記録が都道府県単位の競技会で達成されたものである場合は、その記録表を添付すること。ただし、開催地に登録籍のある選手については、標準記録に到達していなくても出場を認める場合がある。

※なお、下記階級のいずれかで標準記録に到達している場合は、本大会への出場資格を有するものとし、申込時の階級は任意とする。

[標準記録]

(単位：kg)

階 級	55	61	67	73	81	89	96	102	109	+109
トータル	155	165	180	190	200	210	210	210	210	210

(4) チーム編成の条件

ア 地域スポーツクラブチーム

同一都道府県内に、現住所又は勤務先を置く選手で編成されたチーム。

イ 官公庁等及び企業チーム

同一都道府県内に勤務する者で編成する職場チーム。

ただし、同一事業体に勤務する者で、活動拠点が同一都道府県でない場合は、本社機能が存在する都道府県のチームとして申し込むことができる。

- 13 出場承認 (1) 参加資格審査会において出場承認をする。
(2) 出場不承認者には、10月21日(月)までに申込責任者宛てに連絡する。
(3) 参加承認者には連絡しない。
- 14 申込方法 (1) 申込責任者は「監督者又は所属長」とし、都道府県協会長の承認を得て申し込む。(クラブチームや都道府県単位で申し込む場合は総監督者とし、単独の官公庁等や企業チームの場合は所属長とする。)
※総監督者とは、複数の団体所属の選手がチームとして編成された場合の代表監督のことである。
(2) 別紙「申込要領」を参照のこと。
(3) 大会参加申込書(別紙申込書:様式1)は3部作成し、それぞれに都道府県協会会長印を捺印し、下記2カ所(ア・イ)に1部ずつ送付のこと。なお、1部は本人控えとする。また、参加申込書(エクセル形式)を、実行委員会宛にEメールにて送信すること。(会長印は不要)
また、「振込受付書」又は「取引明細書」の写しを下記「イ」へ送付のこと。
ア 〒160-0013 東京都新宿区霞ヶ丘町 4-2 JSOS内
(公社) 日本ウエイトリフティング協会
TEL 03-6434-0681 Fax 03-6434-0682
メール weightlifthing@japan-sports.or.jp

イ 〒520-1592 滋賀県高島市新旭町北畑 5 6 5 番地
高島市教育委員会事務局国スポ・障スポ大会推進課内
わた SHIGA 輝く国スポ・障スポ高島市実行委員会
TEL 0740-25-8567 Fax 0740-25-8539
メール kokusupo-syosupo@city.takashima.lg.jp
(4) 申込締切日 令和6年10月4日(金) 必着
- 15 宿泊申込 別紙「宿泊・昼食弁当要領」による。
- 16 参加料 (1) 1名につき 5,000 円
(2) 参加申込書の提出前に、下記金融機関に振り込むこと。

金融機関名	滋賀銀行 新旭支店
口座番号	普通 0439069
口座名	(ワタシガ`カ`ヤ`ク`コ`ス`ポ` `ショ`ウ`ス`ポ` `タカシマ`シ` `ツ`コ`ウ`イ`ン`カ`イ`チ`ョウ`フ`ク`イ`マ`サ`キ`) わた SHIGA 輝く国スポ・障スポ高島市実行委員会 会長 福井 正明

※ただし、振込手数料は振込者の負担とする。

- (3) 「振込受付書」又は「取引明細書」の写しを、参加申込書と一緒に「14 申込方法 (3) イ」まで送付すること。

17 表彰

・個人選手権

- (1) 最優秀選手に文部科学大臣賞を授与する。
(2) 各階級とも8位までを入賞とし、トータル3位までの者に賞状及びメダルを、4位～8位までの者に賞状を授与する。また、各階級ともスナッチ及びクリーン&ジャークの3位までの者に賞状を授与する。

・団体対抗選手権

- (1) 最高得点を獲得した団体に、内閣総理大臣賞（杯・賞状）を授与する。
(2) 団体総合の8位までを入賞とし、1位～3位までの団体に賞状及び賞品を、4位～8位までの団体に賞状を授与する。
(3) 部門賞として、各部門の3位までを入賞とし賞状を授与する。
(ア) 地域スポーツクラブチーム
(イ) 官公庁等チーム
(ウ) 企業チーム

18 ドーピング検査

- (1) 本競技会は、日本アンチ・ドーピング規程に基づくドーピング・コントロール対象大会です。
- (2) 競技会参加者（18歳未満の競技者を含む。以下同じ）は、競技会にエントリーした時点で日本アンチ・ドーピング規程にしたがい、ドーピング・コントロール手続の対象となることに同意したものとみなします。18歳未満の競技者については、本競技会への参加により親権者の同意を得たものとみなします。
- (3) 本競技会に参加する18歳未満の競技者は、親権者の署名した同意書を大会に持参し携帯して下さい。親権者の同意書フォームは、日本アンチ・ドーピング機構（JADA）のウェブサイトからダウンロードできます。
(https://playtruejapan.org/entry_img/u18_template_20201116.pdf)
18歳未満の競技者はドーピング検査の対象となった際に、親権者の署名が記載された当該同意書を担当検査員に提出して下さい。なお、親権者の同意書の提出は18歳未満時に1回のみで、当該同意書の提出後に再びドーピング検査の対象となった場合は、すでに提出済みであることをドーピング検査時に申し出て下さい。ドーピング検査会場において親権者の同意書の提出ができない場合、検査後7日以内にJADA事務局へ郵送にて提出して下さい。親権者の同意書の提出がなかった場合でも、ドーピング・コントロール手続に一切影響がないものとします。
- (4) 本競技会参加者は、本競技会において行われるドーピング検査（尿・血液等検体の種類を問わず）を拒否又は回避した場合、検査員の指示に従わない場合、帰路の移動等個人的諸事情によりドーピング検査手続を完了することができなかった場合等は、アンチ・ドーピング規則違反となる可能性があります。アンチ・ドーピング規則違反と判断された場合には、日本アンチ・ドーピング規程に基づき制裁等を受けることになるので留意して下さい。

さい。

- (5) 競技会・競技会外検査問わず、血液検査の対象となった競技者は、採血のため、競技/運動終了後 2 時間の安静が必要となるので留意して下さい。
- (6) 日本アンチ・ドーピング規程の詳細内容およびドーピング検査については、公益財団法人日本アンチ・ドーピング機構のウェブサイトにて確認して下さい。<http://www.playtruejapan.org>

19 大会期間中の肖像権について

大会期間中に撮影された写真等を、主催者又は高島市が作成する報告書、広報誌、ホームページ、SNS等に掲載されることがある。また、YouTube等で競技の様子がライブ配信されることがある。

20 そ の 他

- (1) 申込後の「階級変更」は認めない。
- (2) 申込後に出場の取り消し、若しくは棄権した場合の参加料は返却しない。
- (3) 申込後において、団体選手権出場者に事故が生じた場合は、同一の階級に限り選手の交代を認める。(交代選手が競技会に参加登録していなくても大会要項 12 の参加資格に該当する選手であれば交代を認める。) この場合、最終の期限は監督会議前までとする。
- (4) 申込責任者は、出場選手の健康状態を確認し、参加申込をすること。
- (5) 競技会中における選手の負傷事故及び宿舎での飲食による食中毒等については、主催者側において応急処置をするが、その後の責任は主催・主管側で負わない。なお、これらの事故が発生した場合は、速やかに監督者を通じて大会実施本部に届け出ること。
- (6) エントリー数によっては競技日程を変更するので、監督会議には必ず出席すること。
- (7) 参加申込に際しては、個人の階級、氏名、所属、都道府県、生年をプログラムに掲載及び結果発表等を大会運営の目的で公表すること、競技会の画像・映像を大会関係者が使用することを承諾したものとして取り扱う。

第76回全日本総合女子ソフトボール選手権大会
わたSHIGA輝く国スポソフトボール競技リハーサル大会
実施要項

(案)

- 1主催

公益財団法人 日本ソフトボール協会
- 2共催

東近江市、高島市、草津市、守山市、東近江市教育委員会、高島市教育委員会、草津市教育委員会、
守山市教育委員会、わたSHIGA輝く国スポ・障スポ東近江市実行委員会、わたSHIGA輝く国スポ・障スポ
高島市実行委員会、わたSHIGA輝く国スポ・障スポ草津市実行委員会、わたSHIGA輝く国スポ・障スポ
守山市実行委員会
- 3後援

スポーツ庁、滋賀県、滋賀県教育委員会、公益財団法人滋賀県スポーツ協会、わたSHIGA輝く国スポ・障スポ
実行委員会、NHK大津放送局、びわ湖放送株式会社（予定）
- 4主管

滋賀県ソフトボール協会
東近江ソフトボール協会、高島市ソフトボール協会、草津市ソフトボール協会、守山市ソフトボール協会
- 5協賛

名鉄観光サービス株式会社、株式会社重森スポーツ、サミージャパン株式会社（予定）
- 6会期

令和6年(2024年)9月14日(土)～9月16日(月) ※予備日9月17日(火)
- 7会場

東近江市総合運動公園布引多目的グラウンド
滋賀県東近江市芝原町1503番地

高島市今津総合運動公園第1グラウンド
滋賀県高島市今津町日置前3110番

草津市立野村運動公園グラウンド
滋賀県草津市野村3丁目2番5号

守山市民球場
滋賀県守山市石田町335番地
- 8参加チーム数

下記のとおりとする。

優前 勝回	準優 前勝 回	地 元	推 薦 グ ラ ン ド	北 海 道	東 北	関 東	北 信 越	東 海	近 畿	中 国	四 国	九 州	合 計
2	0	1	14	1	2	3	1	2	2	1	1	2	32
前年度優勝 トヨタ（愛知県）・ビックカメラ高崎（群馬県） 推薦：(JDリーグ14チーム)伊予銀行・SGホールディングス・NECプラットフォームズ・大垣ナナモ・シオノギ・太陽誘電・takagi北九州・デンソー・東海理化・戸田中央・豊田自動織機・日本精工・日立・ホンダ													

- 9参加資格

(1)令和6年度公益財団法人日本ソフトボール協会に各支部を通して 加盟登録した(実業団、クラブ、大学)女子チームに限る。
(2)所属長が身体、人物ともに適当と認めたもの。
- 10出場資格

(1)本大会に出場するチーム及び選手は、所定の予選または推薦を経て出場権を得たチーム及び選手に限る。
(2)選手の編成は、最終予選終了時まで公益財団法人日本ソフトボール協会に登録した者の中から編成すること。
なお、本大会参加申込み以後のメンバー変更は認めない。
(3)チームの編成は、次の通りとする。
監督1名、コーチ2名、スコアラー1名、選手25名以内。
ただし、監督、コーチ、スコアラーが選手を兼ねる場合は選手登録をしなければならない。
※大学チームに限り部長のベンチ入りを認める。
※トレーナー1名(トレーナー業務を行う者に限る)、通訳1名(外国人選手がいる場合に限る)のベンチ入りを認める。
※スコアラーとしてベンチ入りする場合は、公式記録員の有資格者であること。
※監督・コーチの中で次の①～②のいずれかの資格を有する者がいること。
①公認コーチ1～4(旧資格名:公認ソフトボール指導員・上級指導員・公認ソフトボールコーチ・ソフトボール上級コーチ)
②公認準指導員
監督・コーチが資格を有していない場合においては、チーム内に有資格者(監督代行になり得る者)がいなければならない。

		※大学チームで学生が監督をする場合はソフトボール・スタートコーチ資格で可。
		※指導者資格保持者は試合中、ベンチ内にいなければならない。
		※試合開始前に本人確認を行うため、指導者登録証と身分証明書を携帯すること。
11	申 込 み 方 法	出場資格を得たチームは、別紙関係用紙に必要事項を明記の上、各関係の認印を受け 8月5日(月)までに到着するよう次の(1)宛に申し込むこと。
		(1) 〒160-0013 東京都新宿区霞ヶ丘町4-2 Japan Sport Olympic Square 公益財団法人日本ソフトボール協会 宛
		※日本協会へは参加申込書(押印のある用紙とプログラム掲載用選手名簿)のコピーのみ送付。 原本は(2)の送付先に送付すること。
		※日本協会へ参加申込書を送付する際は所属支部協会に所属支部協会が保存する登録名簿(B表)と参加 申込書の照合確認を受け、登録名簿(B表)の写しも同封し送付すること。
		ただし、日本協会登録システムでチーム登録を行っているチームについては、登録名簿の送付は不要とする。
		※日本協会へ参加申込書を送付する際は指導者資格登録証のコピーなど資格保有を証する書類のコピーを 添付すること。
		(2) 〒520-2164 滋賀県大津市上田上中野町779番 滋賀ダイハツアリーナ競技団体交流室内 滋賀県ソフトボール協会 第76回全日本総合女子ソフトボール選手権大会事務局 宛 1通 携帯番号:090-8523-9067(事務局長 井口 直哉) E-mail:softball4ga@gmail.com (参加申込書原本、調査書等は(2)宛送付すること)
12	参 加 料	1チーム 60,000円 ※参加料は下記までにチーム名でお振込みをお願いします。なお、振込手数料はチームにてご負担願います。
		振込先 銀行名 :滋賀銀行 ヨウカイチヒガン 八日市東支店 (店番 564) 口座番号 :普通 951994 口座名義 :滋賀県ソフトボール協会
13	競 技 規 則	2024年度オフィシャルソフトボールルールによる。
14	試 合 球	公益財団法人日本ソフトボール協会検定革製3号球(ナガセケンコー社製)とし、主催者が準備する。
15	試 合 方 法	トーナメント方式による。 3回15点、4回10点、5回以降7点以上の差がついた場合は、得点差コールドゲームとする。 サスペンデッドゲームを採用する。
16	表 彰	(1) 優勝チームに、表彰状、優勝旗、優勝杯、優勝メダル、副賞を授与する。 (2) 準優勝チームに、表彰状、準優勝杯、準優勝メダル、副賞を授与する。 (3) 3位チームに、表彰状、3位メダル、副賞を授与する。 (4) 優勝旗、優勝杯、準優勝杯、文部科学大臣杯は持ち回りとする。 (5) 個人表彰として最優秀選手1名、優秀選手1名を表彰する。
17	費 用	出場選手の旅費、滞在費はすべて出場チームの負担とする。
18	組 合 せ 抽 選	試合の組合せは、8月10日(土)13時から「高島市役所*1 新館2階 教育委員会室」において、主催者立会いのもと に公開代理抽選によって決定する。 *1 高島市役所 〒520-1592 滋賀県高島市新旭町北畑565番地 (最寄り駅:JR湖西線新旭駅徒歩2分)
19	監 督 会 議	9月13日(金)13時より「守山市民ホール*2 学習室1」において開催する。※監督はユニフォーム着用で出席すること。
20	審判・記録会議	9月13日(金)14時より「守山市民ホール 会議室、学習室3」において開催する。
21	開 会 式	9月13日(金)15時より「守山市民ホール 大ホール」において開催する。
22	傷 害	*2 守山市民ホール(守山市民文化会館) 〒524-0051 滋賀県守山市三宅町125番地 TEL:077-583-2532 大会参加者の行事参加中の傷害事故については、応急の処置を行なうと共に、公益財団法人日本ソフトボール協会 が加入する行事参加者傷害保険(死亡・後遺障害500万円、入院日額3,500円)の範囲内で補償を行なう。 参加者は全員健康保険証を持参すること。
23	そ の 他	(1) 出場チームは必ず監督等によって引率され、監督は選手の全ての行動に対し責任を負うものとする。

- (2) 開会式は監督、コーチ、プレイヤー全員が参加すること。9名以上(試合が成立する人数)の参加ができないチームは原則として棄権とみなす。
但し新型コロナウイルス感染症の影響により全員参加ができない場合は、最小人数として5名は参加すること。
なお、5名未満の場合は棄権とみなす。
- (3) 全日本大会で棄権したチームの取扱いについては以下の通りとする。
棄権チームに対する処置:当該年度及び次年度の公式試合の出場停止
※ 組合せ抽選終了後の出場辞退も大会期間中の棄権とみなし、上記と同様の処置とする。
※ 新型コロナウイルス感染症の影響による棄権については上記処置は適用しない。
棄権チームに対する処置は日本協会倫理委員会で審査し日本協会理事会で決定する。
- (4) 雷鳴がかすかでも聞こえたら、ただちに試合を中断する。
- (5) 雨天等で準々決勝以降の試合が行えず、勝ち残ったチームが8チーム以下の場合は当該チームの抽選により次年度大会への推薦出場の順位を決定する。
- (6) 宿泊及び昼食については下記の通り斡旋するので、別紙申込み書により8月10日(土)までに名鉄観光サービス株式会社大津営業所まで大会専用サイトから申し込むこと。
(メール・FAXでの申込も可)
- (7) 宿泊の斡旋を要しないチームも宿泊先及びその所在地、電話番号等を大会事務局へ連絡すること。
- (8) ベンチに入る人数は、本大会登録人数とする。
- (9) 本大会の試合の一部を動画配信することもありますので予めご了承下さい。
- (10) その他詳細については、参加チームに直接連絡するとともに、監督会議で定める。
- (11) 大会参加申込書は手書き又はパソコン等で作成し明確に記入すること。
※大会申込書については、滋賀県ソフトボール協会ホームページよりダウンロードできます。

【本大会の問い合わせ先】

〈主 管 協 会〉	〒520-2164	滋賀県大津市上田上中野町779 滋賀ダイハツアリーナ競技団体交流室内 滋賀県ソフトボール協会 事務局長 井口 直哉	携帯番号:090-8523-9067 E-mail:softball4ga@gmail.com
〈開催地事務局〉	〒527-8527	滋賀県東近江市八日市緑町10番5号 わたSHIGA輝く国スポ・障スポ東近江市実行委員会事務局 (東近江市文化スポーツ部国スポ・障スポ競技課) TEL 0748-24-5675 FAX 0748-24-5667	
	〒520-1592	滋賀県高島市新旭町北畑565番地 わたSHIGA輝く国スポ・障スポ高島市実行委員会事務局 (高島市教育委員会事務局国スポ・障スポ大会推進課) TEL 0740-25-8567 FAX 0740-25-8539	
	〒525-8588	滋賀県草津市草津三丁目13番30号 わたSHIGA輝く国スポ・障スポ草津市実行委員会事務局 (草津市教育委員会事務局国スポ・障スポ推進室) TEL 077-561-6896 FAX 077-561-0181	
	〒524-0021	滋賀県守山市吉身二丁目5番22号 わたSHIGA輝く国スポ・障スポ守山市実行委員会事務局 (守山市総合政策部スポーツ振興課) TEL 077-582-1169 FAX 077-582-0539	
〈宿 泊 関 係〉	〒520-0044	滋賀県大津市京町4-4-23 アソルティ大津京町6階 名鉄観光サービス株式会社大津営業所 担当: フタギ トシユキ 二木 敏之 TEL 077-510-0100 FAX 077-510-0030	

わた SHIGA 輝く国スポ銃剣道競技 リハーサル大会実施要項（案）

- 1 主 催 滋賀県銃剣道連盟
高島市 高島市教育委員会
わた SHIGA 輝く国スポ・障スポ高島市実行委員会
- 2 主 管 滋賀県銃剣道連盟
- 3 後援(予定) 滋賀県 滋賀県教育委員会
わた SHIGA 輝く国スポ・障スポ実行委員会
(公財) 滋賀県スポーツ協会 (一社) 高島市スポーツ協会
- 4 開催日時 令和6年9月8日(日) 午前10時から
- 5 会 場 新旭体育館
住所：〒520-1501 滋賀県高島市新旭町旭 818 番地
電話：0740-25-5597
- 6 参加チーム
成年男子の部 大阪府、京都府、兵庫県、奈良県、和歌山県、滋賀県
少年男子の部 大阪府、兵庫県、滋賀県
1 チーム選手3名とし、監督選任は少年男子の部のみとする。
成年男子の部においては、選手のうち1名が監督を兼任する。ただし、1名の帯同を認める
- 7 試合・審判規則および審判員
(1)「銃剣道試合・審判規則及び細則」による。
(2) 服装
①競技者の服装 紺色の銃剣道着・袴とし、チームで統一する。
②監督の服装 競技者と同じ。
③審判員の服装 銃剣道試合・審判規則第31条及び細則29条による。
(3) 審判
①審判員の条件 A級・B級審判をもって当てる。
②審判員の差出 9名を基準として近畿銃剣道協議会が選出する。
③審判員の構成 各試合につき、主審1名、副審2名をもって組織する。
- 8 試合方法
(1) 試合は3本勝負とし、試合時間は5分、延長2分とし、勝敗が決しない場合は判定による。
(2) 成年男子は予選リーグ(Aリーグ・Bリーグ)を行い各リーグの1位、2位、3位順位決定戦を行い、1位・2位・3位を決定する。
(3) 少年男子はリーグ戦を行い、1位・2位・3位を決定する。

- (4) リーグ戦の順位は、勝数、勝者数、勝本数の順で決定する。なお同率となった場合は、5分1本勝負の代表戦を行う。
- (5) 組合せ及び試合順序は、主管連盟で決定する。
- (6) その他、詳細については監督会議で決定する。

9 選手に事故が生じた場合の対応

- (1) 大会当日の令和6年9月8日(日)午前9時までに所定の手続きによる選手変更の届出があった場合は、選手の変更を認める。
- (2) 試合中に身体に故障が生じ、試合の続行ができない場合は、相手方を2本勝とする。相手の故意によって身体に故障が生じた場合は、故意を与えた側を敗者とする。
(敗者が既得した1本は認める)
- (3) 事故のため欠員を生じた場合は、同順位の対戦者を不戦勝とし、2本与える。

10 参加資格

- (1) 成年男子の部 平成18年4月1日以前に生まれた者とする。
- (2) 少年男子の部 平成18年4月2日以降から平成21年4月1日以前に生まれた者とする。
(当該学年高1～高3の男子で学校・保護者の許可を得た者)

11 表彰 各種別1位から3位まで賞状を授与する。

12 開始式 令和6年9月8日(日)午前9時40分から 新旭体育館

13 審判・監督会議 令和6年9月8日(日)午前8時30分から 新旭体育館ミーティング室

14 参加料・負担金 なし

15 統制事項

- (1) 使用木銃の基準等
 - 長さ 166cm
 - 重さ 成年1,100g以上、少年1,000g以上
 - その他 木銃は、突起部から40cmの位置と、そこから20cmの位置に幅1cmの白色テープを巻いた木銃を使用する。
- (2) 各選手は、用具の「垂れ」に都県名及び姓を紺地に白書して縫着すること。
- (3) 各チームの監督は責任を明確にするために、首掛け式のADを常に身に着けること。(当日受付にて配布)
- (4) 道場内での運動靴、サポーター、足袋等の使用を禁止する。ただし特別な事情がある場合は、審判長の承認によりサポーター、足袋等を使用することができる。

16 参加・昼食の申し込み方法

- (1) 各種別の選手・監督及び役員の申し込み
 - ①各府県銃剣道連盟は、令和6年7月31日(水)(予定)までに下記宛に提出すること。
〒522-0087 滋賀県彦根市後三条町13 寺村 大佑 方
滋賀県銃剣道連盟 事務局 行
《電話番号》 090-6324-7041
 - ②申込書は、わたSHIGA輝く国スポ高島市実行委員会より、各府県銃剣道連盟に送付

します。

- ③申込期限後の変更又は訂正については、メール又はFAXにより下記宛に提出すること。

提出先：わたSHIGA輝く国スポ高島市実行委員会事務局

FAX：0740-25-8539 E-Mail：kokusupo-syosupo@city.takashima.lg.jp

- ④昼食の斡旋は、わたSHIGA輝く国スポ高島市実行委員会よりご案内します。

- ⑤宿泊施設の斡旋は行いませんので、宿泊が必要な場合は、各府県連盟で個別に対応願います。

- (2) 選手、監督の交通費、宿泊費及び昼食代は、各府県連盟の負担とする。

令和 6 年度 秋季近畿地区高等学校軟式野球大会
(わたし SHIGA 輝く国スポ高等学校野球 (軟式) 競技別リハーサル大会)

開 催 要 項 (案)

- 1 主 催** 近 畿 地 区 高 等 学 校 野 球 連 盟
- 2 共 催** わた SHIGA 輝く国スポ・障スポ甲賀市実行委員会
わた SHIGA 輝く国スポ・障スポ高島市実行委員会
甲賀市 甲賀市教育委員会 高島市 高島市教育委員会
- 3 後 援** 滋賀県 滋賀県教育委員会 朝日新聞大津総局 毎日新聞社大津支局
- 4 主 管** (一財) 滋賀県高等学校野球連盟
- 5 期 日** 令和 6 年 1 1 月 9 日 (土) ・ 1 0 日 (日) ・ 1 6 日 (土)
〔予備日： 1 1 日 (月) ・ 1 2 日 (火) ・ 1 7 日 (日) 〕
- 6 会 場** 甲賀市民スタジアム

高島市今津総合運動公園今津スタジアム
- 7 試合日程** 抽選会は各府県理事による代理抽選とし 1 0 月 9 日 (火) に行う。
- 8 試合方法** トーナメント方式による。

9 試合規定

〔試合上の注意〕

- (1) 試合は 2024 年度公認野球規則、アマチュア野球内規、高校野球特別規則及び近畿地区高等学校野球連盟軟式部が定めた特別規則を適用する。
- (2) 審判委員は主催者側が委嘱する。審判委員は 4 人制とする。
- (3) 審判委員に対するアピールは、規則適用上の疑問をただす時だけで、主将、伝令または問題の当事者に限る。
- (4) 延長 1 2 回終了時点で両校同点の時はタイブレークによって上位進出校を決定する。
- ① タイブレーク導入開始回については、延長 1 2 回終了時に同点の場合 1 3 回から タイブレークを開始する。
- ② 打順は、1 2 回終了時の打順を引き継ぐものとする。(次回以降も前イニング終了後からの継続打順)
- ③ 走者は無死、一・二塁の状態から行うものとする。この場合の 2 人の走者は、前項の先頭打者の前の打順のものが一塁走者、一塁走者の前の打順のものが二塁走者となる。
- ④ タイブレークを開始する各イニングの前に、審判委員と両チームは各塁上の走者に誤りがなければ十分に確認する。その後、守備側の選手交代およびポジション変更、攻撃側の代打および代走は認められる。
- ⑤ タイブレーク開始後、降雨等でやむなく試合続行が不可能になった場合は 引き分けとし、翌日以降に改めて再試合を行う。
- ⑥ タイブレーク開始後、1 5 回を終了し決着していない場合においても、そのまま試合を続行する。ただし、1 人の投手が登板できるイニング数については 1 5 イニング以内を限度とする。
- (5) 得点差によるコールドゲームを採用する。コールドゲームが成立する得点差は以下のとおりとする。
- 5 回完了もしくは 5 回表終了以降： 1 0 点差
- 7 回完了もしくは 7 回表終了以降： 7 点差
- なお、決勝戦には適用しない。
- (6) 降雨、日没等により試合が成立しなかった場合、その試合を継続試合とする。
- 試合の日程については、諸条件を考慮して主催者が決定するものとする。雨天順延などで日程が著しく変

更され、準決勝、決勝を同日に行う場合、投手が登板できるイニング数は両試合を通じて合計15イニング以内とする。2試合目も登板が予定される投手は第1試合終了後のアイシングはしないこと。

(7) 投手の投球制限を実施する。(高校野球特別規則2024年版<附記>)

▽投球数、試合について

- ① 1人の投手が投球できる総数は1週間500球以内とする。
- ② 試合が降雨、暗黒などで続行不可能となり継続試合となった試合の投球数も500球の制限に投球数としてカウントする。

▽投球数(公式記録)の取り扱い

- ① 試合終了後、原則として電子スコア等を活用した公式記録で大会本部と両チームは各投手の投球数を必ず確認する。
- ② 試合前(直近1週間に試合を行っていないチームは除く)に、大会本部はメンバー交代時に原則として両チームにそれぞれ1週間の試合の双方の各投手の投球数を記したシート等を配布し、投球数を確認する。

▽1週間で500球に到達した場合の取り扱い

- ① 500球に到達した打者の打撃完了まで投球可能。(次打者で投手交代)
- ② 降板した投手は、以降当該試合では投球できない。

(8) 申告故意四球を採用する。(高校野球特別規則2024年版<附記>)

- ・守備側 申告は伝令からに限る。また、連続して行う場合、最初の通告時に申し出ることもできる。カウントの途中からでも適用可とする。申告後、その打者への投球数は加算されない。
- ・攻撃側 当該打者は一旦必ず打者席に入る。
- ・審判 球審はタイムをかけ打者に1塁を与える。

(9) 試合中攻守交代は、特に迅速に行うこと。

(10) スピーディーな試合進行を図るため、守備側、攻撃側とも「タイムの回数制限」(高校野球特別規則15)を適用する。ただし、

- ① 試合が延長回に入ったときは、それ以前の回数に関係なく、毎イニングに1回、守備側、攻撃側とも伝令を使うことが許される。
- ② 相手側のタイム中に伝令を出すことは認められるが、相手側のタイムが終了してもなお継続する場合はそのチームのタイムとしてカウントする。
- ③ 投手交代の際に野手がマウンドへ集まることや、この時に伝令がマウンドに行ってもタイムの回数にカウントしない。ただし野手が定位置に戻り、投球練習が終了しようとするときに伝令がマウンドに行った場合は回数としてカウントする。
- ④ 投手が塁ベースや本塁のカバーリングをした後、内野手のうち2人以上が投手に近寄りマウンド周辺までついていく場合、よどみなく自然の流れの中での動きと審判委員が認められたときはタイムの回数とは数えない。しかし、立ち止まって作戦の打ち合わせをしていると見なされるときはタイムとしてカウントする。

なお、ベンチから伝令が出る場合は全力疾走すること。

(11) 次打者は速やかに次打者席内に入ること。次打者席内では素振り(トレーニングバット可)をしても構わないが、投手が投手板についたらプレイに注目し、前の打者が攻撃を完了すれば、速やかに打者席へ入ること。また打者はみだりに打者席を外してはならない。

- (12) 試合中、攻撃側選手に不慮の事故などが起き、一時走者を代えないと試合の中断が長引くと審判委員が認めた時は、相手チームに事情を説明し、臨時の代走者を許可することができる。この代走者は試合に出場している選手に限られ、相手チームに指名権はない。(高校野球特別規則 11)
- ・臨時代走はその代走者がアウトになるか、得点するか、またはイニングが終了するまで継続する。
 - ・臨時代走者に替えて別の代走者を送ることはできる。この場合、負傷した選手に代走が起用されたことになり、負傷選手は以後出場できない。
- 代走者は投手を除いた選手のうち、
- ① 打者が死球などで負傷した場合は、投手を除く打撃の完了した直後の者。
 - ② 塁上の走者が負傷した場合は、その時の打者を除く打撃を完了した直後の者。
- (注) 死球を受けたり、すべり込みなどでケガをしったりする場合は、手当さえすれば再び出場できるが、手当に多少の時間がかかり、試合を一時中断しなければならないようなとき、前記の手続きをしてその走者のプレイを完了することができる。
- (13) 大会に出場する責任教師、監督並びに選手は令和 6 年度大会参加者資格規定に適合したもので、選手資格証明書に記入された責任教師、監督並びに選手に限る。
- チームまたは選手が大会参加者資格規定に触れたときは、それが分かった時点で相手校に勝利を与える。なお、責任教師、監督が、大会参加中の試合に関する不正行為をしたときは、相手校に勝利を与える。
- ① 大会参加者資格規定に触れたチームが大会組み合わせ抽選後に判明した場合は、試合を没収して相手校を不戦勝とする。
 - ② 大会参加者資格規定に触れたチームが試合中に発見されたときはただちに試合を没収して相手校に勝利を与える。
 - ③ 大会参加者資格規定に触れたチームが試合後に判明したときは、そのチームの勝利を取り消し、最終試合を行ったチームに勝利を与え、その以前にさかのぼって再試合を行うことはできない。
- (14) 打者、走者、ベースコーチ、バットボーイは、危険防止のため、必ず両耳つきヘルメットを着用すること。色彩は黒、紺または白のいずれか 1 色とし、表面にはチームの校名および、その頭文字、校章、番号以外の表示はできない。また、側頭部への校名などの表記を禁止し、前頭部 1 ヶ所とする。なお、後頭部または側頭部への番号表記は差し支えない。捕手は守備につく際、必ずヘルメット、マスク、プロテクター、レガーズ・急所カップを着用すること（ブルペンにおいても同様である。）マスク、プロテクター、レガーズの色彩は、黒、紺とし、ヘルメットの色彩と表記は打者用と同じ扱いとする。
- (15) 金属製バットの使用は（公財）日本高等学校野球連盟並びに（公財）全日本軟式野球連盟で認可したものに限る。ただし色彩（バット本体、商標）は、（公財）日本高等学校野球連盟が定めた「野球用具の使用制限」で規制したものに限る。（金属製バットは、本体色はシルバー系、ゴールド系またはブラックとする）商標表示は 1 色に限る。但し、表示の大きさは縦 8 センチ、横 28 センチ以内とする。また、テーパー部にはリングなど商標と認識されない印刷は認める。なお、木製、金属製以外のバットの使用は認めない。（ハイコンバットなど）。
- (16) 走者やベースコーチなどが、捕手のサインを見て打者にコースや球種を伝える行為を禁止する。もし疑わしい行為があれば、審判委員はタイムをかけ、当該選手と攻撃側ベンチに注意し、止めさせる。

【試合当日の注意】

- (1) 選手の背番号は白地の布に黒色または紺色の数字とし、各チームで準備しユニフォームにつけること。背番号は必ず登録順につけること。
- (2) ベンチは組み合わせ番号の若い方を1塁側とする。
- (3) (到着時間) 第1試合出場校は試合開始予定時刻の1時間前までに、第2試合の出場校は試合開始予定時刻の2時間30分前までに球場に到着し、本部に到着の旨を報告しメンバー表を提出する。その際、校旗及び校歌のCDも提出する。
- (4) (攻守決定) 第1試合は、試合開始予定時刻の40分前に、第2試合は前試合の4回終了時に、役員・審判の立ち会いのもとで行う。その際、監督(1回戦のみ)、責任教師、主将、テーピング等の許可を受けようとする者はマスクをして本部前に集合すること。このとき、メンバー表を交換する。
- (5) ベンチには選手資格証明書に登録された選手17人と責任教師、監督各1人、記録員1人のほかは入れない。責任教師は所属連盟のシャツまたは白色のシャツでノーネクタイ。監督は背番号をつけず、選手と同じユニフォームを着用し選手と同じ黒または白のスパイクをはくこと。記録員は、都道府県高等学校野球連盟に部員として登録されたもので、男女は問わない。ベンチ入りの際の服装は、各校の制服とする。試合毎の変更も可能。
- (6) ベンチへは、鉄棒、バットにはめるリングなどの持ち込みを禁じる。また試合中ベンチ内でのラジオ、ビデオカメラ、携帯電話などの電子機器の持ち込みを禁止する。
- (7) グラウンド内で打撃練習(トスバッティングを含む)は一切できない。
- (8) シートノックは前試合終了後、大会本部の指示により開始すること。制限時間は7分間とする。ただし時間の都合で短縮、または省くこともある。シートノック時には、選手と同じユニフォームを着用したノッカー1人と練習補助員が3人まで参加できる。ただし補助員は、ヘルメットを着用の上、背番号のついていない試合用のユニフォームにアップシューズとし、ノックを受けることは不可。ノック終了後、ノッカー・練習補助員は速やかにグラウンドから退場する。

9 責任教師・監督・登録選手

- (1) 試合には必ず責任教師が付き添い、選手及び部員について、一切の責任を負うこと。
- (2) **本大会に参加するにあたっては、すべての選手及び部員の保護者から同意を得た上で、学校長の同意を得ること。**
(保護者の同意を得る際は様式2を使用し、学校長の同意書様式1を選手資格証明書とともに提出して下さい)
- (3) 試合に参加できる選手は17名以内とし、1より17の背番号をつける。選手が17名未満の場合でも、1からの続き番号をつけ、欠番号の無いようにすること。
- (4) 校長印(公印)と校医印の押された選手資格証明書(2通)と各府県高等学校野球連盟で登録されている登録用紙(原本のコピー可、1通)を、10月25日(金)までに下記宛に送付すること。**(ただし、健康診断の未実施等により校医印が得られないときは、学校長の証明書様式1をこの代わりとする)**
⇒取り急ぎ、パンフレット用選手名簿をメールで、選手資格証明書をFAXまたはメールでお送り下さい。

〒520-0113 滋賀県大津市坂本4丁目3-1 比叡山高等学校 内 雲林院 寿文 宛 TEL 077-578-0091 FAX 077-579-3413 mail shiga.hbf.nanshiki@gmail.com
--

- (5) 選手資格証明書送付後に、登録選手を変更する場合は、選手登録変更届を自校の第1試合までに提出しなければならない。ただし、特別の事情がある場合には、主催者において協議のうえ決定する。
- (6) やむをえない理由により、責任教師(1名)または監督(1名)の変更をしなければならなくなった場合には、事前に責任教師変更届または監督変更届を提出しなければならない。ただし、突発的な場合には、主催者において協議の上、変更の可否を決定する。

10 選手の健康

主催者は、大会中の不時の負傷、疾病に対して応急の処置をするほかは、一切その責任を負わない。

11 表彰

優勝校と準優勝校を表彰する。

優勝校には、公益財団法人日本高等学校野球連盟の表彰状ならびに優勝旗（持ち回り）・優勝メダルを、準優勝校には同表彰状ならびに準優勝メダルを、それぞれ授与する。

12 応援

一般の観戦を認める。発熱などの風邪症状のある保護者・家族は欠席するよう各校の責任教師が指導する。観戦の際は、お互いの距離を十分に保ち、大きな声を出しての応援は控える。太鼓、メガホンの使用を禁止する。スピーカーの使用を認めるが、音量には配慮すること。

13 費用

出場校は、試合当日20,000円を大会参加費用として、近畿地区高等学校野球連盟軟式部事務局会計に納入すること。

近畿地区高等学校野球連盟軟式部事務局会計

（一財）滋賀県高等学校野球連盟 軟式理事 雲林院 寿文 迄

14 その他

- (1) 勝利校の校旗掲揚、校歌演奏を行うので、校旗・校歌CD（一番のみ）を必ず持参すること。
- (2) 雨天等による試合中止の決定は、当日第1試合の開始1時間前以降を原則とする。
- (3) 雨天等で試合開催不能のとき、予備日を使う。ただし日程11月17日までとし、消化できない場合は同日に準決勝、決勝を行う。
- (4) 大会使用球は、M号球とする。（マルエス球）
- (5) 下記の場合について、手袋の使用を認める。
 - ア、打者の両手。
 - イ、走者の両手。但し、手袋を握るだけの使い方は認めない。
 - ウ、投手以外の守備時の受け手。
 - エ、ノッカーのシートノック時。また、使用する手袋に関しては、次の条件を定める。
 - ア、色彩は黒もしくは白とする。
 - イ、商標は手袋の素材と同色のものを、表面の1カ所にのみ表示することとし、その大きさは7平方センチメートル以下とする。
 - ウ、滑り止めのついた手袋の使用は認めない。
- (6) テーピングについて
 - ア、投手の投げ手へのテーピングは禁止する。
 - イ、テーピングを施している選手は、攻守の決定の際に、立ち会いの審判に申告すること。
 - ウ、テーピングのテープの色は、うすだいい色のみとする。
- (7) メガホンの使用は監督のみとする。
- (8) ボールパーソンは、主管県で確保する。
- (9) 試合開始時・終了時の挨拶は、ホームベースを挟んで整列して行う。握手はしない。
- (10) 試合後の校歌斉唱は行う。その際は、お互いの距離を十分に保ち、大声は出さないこと。

15 連絡・問い合わせ

〒520-0113 滋賀県大津市坂本4丁目3-1
比叡山高等学校 内 雲林院 寿 文
TEL 077-578-0091 FAX 077-579-3413
mail : shiga.hbf.nanshiki@gmail.com
[携帯] TEL 090-6677-3889